

■福岡/飯塚市の実施報告

「金融経済教育公開授業 in 福岡（飯塚市）（庄内小学校）」（11月28日開催）

飯塚市は、日本の石炭の主要な産地であり、炭鉱の町として栄え、日本の産業発展に貢献しました。その飯塚市の東側に位置する飯塚市立庄内小学校は、東に関の山、を望み、西に庄内川が流れる自然豊かな環境にあります。また、福岡市と田川市を結ぶ国道（バイパス）にも近く、通勤に便利で、商業施設が多く、利便性のある校区になっています。

本年度の学校教育目標を「未来を拓く力を身につけた『かしこく、やさしく、たくましい』子どもの育成」とし、主体性を重んじ、心豊かな児童の育成を目指し、教育活動を行っています。

11月28日（木）に金融経済教育公開授業を開催し、全学年を対象に公開授業とあんびるえつこ氏による講演会を行いました。

<取材>西日本新聞社・NHK福岡放送局

▼参加者内訳：

児童 209名、教員 45名、保護者 4名、教育委員会 6名、他校教員 89名、
地域の方 2名、合計 355名

1. 公開授業

(1) 「かえますか？かえませんか？」

1つの品物が10円、もしくは50円で買えるか買えないかを判断し、説明することができるようになるとともに、見積り素地の養う授業を行いました。また、日常生活に生かすことができるように、「買い物ごっこ」を体験活動として設定し、金額が大きくなっても対応できるようになりました。



(1年生の授業「かえますか？かえませんか？」の様相)

(2) 「買えますか？買えませんか？」

5つの品物が500円で買えるか買えないかについて「買い物ごっこ」を通して、1つの品物が100円より大きいか小さいかで判断し、説明ができるようになることをねらいとして授業を行いました。班で、5つのパンやジュースを買う活動について話し合うことで、簡単な見積もりによって買い物ができる便利さに気づき、日常生活に生かすことができるようになりました。



(2年生の授業「買えますか？買えませんか？」の様様)

(3) 「店ではたらく人と仕事」

家や店等で調べたことをもとに、「スーパーマーケットとコンビニエンスストアのどちらが便利か？」の話し合い活動を通して、より良い商品の選択ができるようになる授業を行いました。初めにレシートや家の人のインタビューから得た情報をもとに、どちらが便利なのか話し合い、目的や条件に合った店選びをし、購入することを大切だということが理解できるようになりました。



(3年生の授業「店ではたらく人と仕事」の様様)

(4) 「『子ども食堂』無料で食べられるなどを追え！」

何気なく消費活動を行う中で材料費や利益なども含めた代金がかかることを知り、利益がないのに、「子ども食堂」が地元の人たちのために成り立っていることを考え、お金の価値や重み、使い方について考える授業を行いました。本授業では、子ども食

堂に関わる方々の思いを伝え、自分たちができる活動についてできることを見直すことができました。



(4年生の授業「『子ども食堂』無料で食べられるなどを追え！」の様様)

(5) 「食品ロスをどう防ぐ？」

日本における食品ロスの現実を知り、その解消に向けた様々な取組の実際を通して、食品ロスの削減に向けた自分のあり方について考える授業を行いました。本授業では、食品ロスにつながるレストランの残飯や農業の大量廃棄から課題をもたせ、そのロスの削減に向けて企業や地域での取組について話し合いました。また、自分たちにはどのようなことができるのかについて考えることができました。



(5年生の授業「食品ロスをどう防ぐ？」の様様)

(6) 「プロジェクトS～挑戦！創造的再利用！～」

大量の物が捨てられている社会での課題に気づき、自分の身の回りにある物をリユースするだけでなく、新たな付加価値を加えた「アップサイクル事業」についての考えを実践し、さらに商品販売までのお金の流れと役割を学び、実生活や将来のキャリアに生かしていく授業を行いました。本授業では、これまでの活動で行ってきた不用品の新たな価値を考え、より良い方法を商品開発グループ、経理グループ、社長グループに分かれて、知識構成型ジグソー法を用いた話し合い活動を行い、自分たちができることを会社ごとに考えることができました。



(6年生の授業「プロジェクトS～挑戦！創造的再利用！～」の様様)

(7) おかいものごっこ

自立活動の中で「おかいものごっこ」を行い、他者との関りを通して、集団への参加意欲を育て、コミュニケーションの基礎的能力を身につけること、また、具体的な操作活動を通して、計算ができることを目標に授業を行いました。本授業では、買い手と売り手の両方を体験し、同じ班の友達と協力して活動しました。品物の準備やおつりの間違いがないか確かめたり、二人以上でお買い物をを行い、金額が正しい方しかめたりして、これからの生活に生かす素地を養うことができました。



(なかよし学級の授業「おかいものごっこ」の様様)

2. 研究発表

令和5年度より福岡県金融広報委員会からの金融教育研究校の委嘱を受け、研究主題を「主体的に課題に向かい、よりよく問題解決する子どもを育てる金融教育～金融4つの分野を視野に入れた対話的・体験的活動を位置づけた授業を通して～」とし、金融教育の研究に取り組んできました。カリキュラムの中に金融教育を位置づけ、教育活動の中に金融教育をどう組み込んでいくかを考えました。話し合い活動や体験活動を通して、児童が主体的に学びに向い、お金や経済について考え、生活に生かせる授業づくりに努めました。

3. プログラム

- 13：05～13：35 開会行事
学校長挨拶 飯塚市立庄内小学校 校長 石坂 政次
飯塚市教育委員会挨拶 飯塚市教育委員会 教育長 桑原 昭佳
- 13：45～14：30 公開授業
(1)「かえますか？かえませんか？」(1年生 算数科)
(2)「買えますか？買えませんか？」(2年生 算数科)
(3)「店ではたらく人と仕事」(3年生 社会科)
(4)『子ども食堂』無料で食べられるなぞを追え！
(4年生 総合的な学習の時間)
(5)「食品ロスをどう防ぐ？」(5年生 道徳)
(6)「プロジェクトS～挑戦！創造的再利用！～」
(6年生 総合的な学習の時間)
(7)「おかいものごっこ」(なかよし学級 生活単元学習)
- 14：40～14：55 講評
飯塚市教育委員会 学校教育課長 吉村 浩一
- 14：55～15：55 講演「子どもたちの生きる力と金融経済教育」
講師 あんびるえつこ 氏
- 15：55～16：05 閉会行事
閉会挨拶 福岡県金融広報委員会 事務局長 原田 幸一郎

以 上